

花 通 心



発行：NPO法人加古川緑花クラブ（KRC=Kakogawa Ryokka Club）
〒675-0111 加古川市平岡町二俣884-14 Tel/Fax：079-437-6252

第19回 通常総会開催される



令和6年5月19日（日）加古川市総合福祉会館大ホールにて、当クラブの顧問 安尾昌子様にご臨席をいただき、会員65名出席のもとで令和6年度（第19回）通常総会が開催されました。総会審議に先立ち、当クラブに入会して活動を10年経過された5名の方に、永年（10年）活動表彰として、感謝状と記念品が贈られました。続いて、今年4月入会の新入会員9名が紹介され、あたたかい拍手で歓迎されました。

第1号議案「令和5年度事業報告、収支報告の件」、第2号議案「令和6年度事業計画（案）及び収支予算書（案）の件」について、報告並びに提案後、いずれも異議なく満場一致をもって承認され、通常総会を終了しました。

第2部の記念講演は、日本防災士会の横山恭子様に「多様化する災害からどう生き抜くか～過去の災害から学ぶ令和の防災活動～」の演題で講演をいただきました。



<永年(10年)活動表彰>



永年活動者に対して、感謝状が贈呈されました。
塩見 俊郎 ・ 高尾 たづ子 ・ 高橋 千世枝
村井 陽子 ・ 村尾 俊樹

～10周年を振り返って～ 高尾 たづ子

11期生による、ひだまりの丘”志”花壇の始まりは、デザインよりも先に花辞典から花の色、名前、特長などを頭に入れることからの計画でした。今と違って、便利なスマホもなかった時代です。斜面のため、雨の度に土

の流出が激しく苦勞したことや、思い描いた様に育たずがっかりしたりと、いろんなことがありました。今も当時に植栽した赤のタイタンピカスやアガパンサスなどの宿根草が咲いてくれると思い出深く、うれしくなります。現在は6名になり苦勞しながらの作業ですが、顔を合わせる日は楽しみです。私たちの手がけた花壇の花を見て、ひと時でも心をなごませていただくことで、お役に立てればうれしいですね。

<令和6年度新入会員の紹介>



小櫃 千津代（神野駅北） ・ 藤原 純子（加古川駅北）
坂本 友子（加古川駅南） ・ 藤井 博文（東加古川駅北）
萩原 好恵（平野交差点東） ・ 竹内 勝次（東加古川駅北）
八重尾 伸子（平野交差点西） ・ 西田 文子（良野交差点）
岩佐 美鈴（平野交差点東）

※代表で、竹内さんの入会の思いについて3ページに掲載しています。

🌸**街角花壇だより**・・・6月初旬、市内8カ所の街角花壇が、ジニア、トレニア、サルビアなど夏の花壇に模様替えをしました。



平野交差点東花壇



平野交差点西花壇



溝之口花壇



良野交差点花壇



東加古川駅北花壇



神野駅北花壇



西側← 加古川駅南花壇 →東側

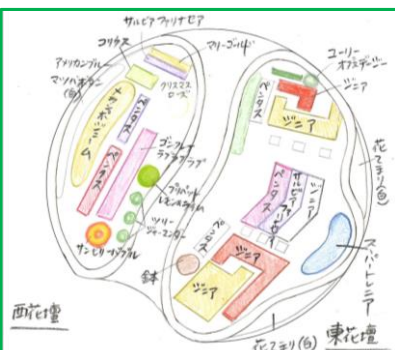


加古川駅北花壇

街角花壇の見どころ クローズアップ

新入会員も多く入会されたので、「各花壇の見どころ紹介」を連載します。会員の皆様の参考にしていただければと思います。

<加古川駅南花壇>



6月1日植栽デザインコンセプト
猛暑を乗切る元気でさわやかな花壇

◆花壇の位置付け、見る人の視点：加古川市の玄関口といえるJR加古川駅の南側のサブロータリーの中にある。足をとめてじっくり見て頂くというより、通りがかりに遠くから見るといった花壇となります。

◆環境、注意点：サブロータリーのため見通しを悪くしないよう、高い木は適さない。風が強く、西日も当たります。

◆花の選び方、デザイン：暑さ、寒さに強い花、一年草を多く使っています。一年草だけでは、植え替えが大変なので、アクセントとなるアカンサスモリス、クリスマスローズやスーパーアリッサムなど多年草も植えています。低木としてツリージャーマンダー、プリペットレモン&ライムも年中さわやかな葉の色で彩りをそえてくれています。季節毎の花を見て頂き、花壇にかかわるメンバーが楽しんで世話をすることを大切にしています。

❖ 2024年 加古川市花とみどりのフェスティバル開催 ❖

「花とみどりのフェスティバル」が、4月28日・29日に晴天の下、たくさんの来場者を迎え開催されました。日岡山公園の花壇の花や珍しい樹木を知ってもらおうと、ツツジ、ネグンドカエデ、巨大クスノキ、ホルトの木、カクレミノ（グーチョキパーの木）の5種の樹木を巡るスタンプラリーを行いました。加古川市だけでなく姫路市、神戸市や滋賀県など他県からも来園されており、2日間で309名の方がスタンプラリーに参加されました。また「巨大万華鏡」「松ぼっくりのカーレース」「わなげ」も人気で、子供たちが夢中になって遊んでいました。日岡山公園の自然の中でたくさんの植物の不思議を体験していただけたと思います。



式典は岡田市長、有川実行委員長の挨拶で始まりしました

スタンプラリーの受付にみどりんが応援にきてくれました



親子で楽しむスタンプラリー

巨大万華鏡、松ぼっくりでつくった車のレース、わなげ、子供たちは夢中で遊びました



ガーデニング、寄せ植え、ハンギングバスケットの展示が会場を彩りました

苗、パン、雑貨の販売も例年通り、大盛況でした

今年度の新入会員については、1 ページ目で紹介しましたが、代表で竹内さんにコメントを頂きました。

～加古川緑花クラブ入会にあたり～ 竹内 勝次



令和5年度「花とみどりのまちづくり講座」を基礎編とし、応用編を加古川緑花クラブに入会して、東加古川駅北花壇から学ぶことだと考えました。この花壇はいつも花が咲いており、どのように管理され、どんな花が使われ、どんな作業をされているのか等を学びたいです。初めて参加したのが6月12日の例会です。パブリックアート展に関する議論が活発にされていました。会員からいろんな意見が出され、活気に溢れていました。加古川緑花クラブはいいところだなと思いました。会員の皆さんも色々ご都合があり、なかなか参加できないこともあるでしょう。私の場合は病気のために、水曜会や例会時の園芸作業ができません。会員の皆さんに申し訳ないと思います。でも私にもできることがある。できることを見つけてそれを積極的にすることが私の楽しみです。

会員コラム

木工仲間の憩いの場 MOC・MOCクラブ

代表 稗田 隆久

私が代表を務めているMOC・MOCクラブについて、紹介させていただきます。クラブ名は木工作业を表しており、木工製品作りを楽しみながら、加古川緑花クラブに貢献しているクラブです。木工好きな同世代の男女（男性8名、女性5名）が、土曜日の午後 育苗園で2時間程度、自分の技量を生かし、安全に留意しながら木工作业を楽しんでいます。クラブ員全員は木工については素人ですが、仲間内で技術を教え合いながら、作業をしています。ここで制作した作品は、日岡山等のイベントに出展して販売し、クラブの運営資金としています。クラブの親睦会も年に数回行い、親睦を深めています。私達にとって、土曜日の2時間は、この場所に来て好きな木工作业をやり、おしゃべりをしてリフレッシュが図れる憩いの場所となっています。このクラブも、立ち上げから早や6年が経ちました。これからもこの場所が皆の憩いの場所として、長く在り続けられるよう、活動してまいります。

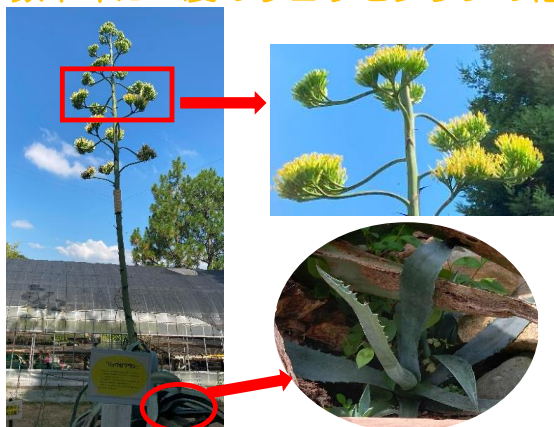


氷丘小学校3年生 環境体験学習（🌻フロントガーデンに花苗を植える🌻）

「おはようございまーす」氷丘小学校3年生120名の元気な声が日岡山公園に響き渡ります。「ようこそ日岡山公園に！」6月10日環境体験学習（植栽）が始まりました。植物が育つのに必要なものは水、光、空気。土の種類、肥料、病気、害虫の話をみんな真剣に聞いて、ノートに書いていました。続いて実習です。1・2組はペチュニア、3組はペゴニア、4組はトレニアの苗を一人ずつ手のひらに大事そうに持って植えていました。「楽しかった、ありがとうございました！」元気な声を響かせて日岡山公園を後にしました。私たちに沢山の元気と清々しい気持ちを置いて行ってくれました。 根釜 裕美



数十年に一度のリュウゼツランの花が咲きました！



7月23日(火)、日岡山公園いくびょう園のリュウゼツランに黄色い花が咲き始めました。リュウゼツランは漢字で書くと「竜舌蘭」、英語では数十年に一度しか咲かないところから、century plantsとも呼ばれる、キジカクシ科（リュウゼツラン科）アガベ属（Agave）の植物の総称です。原産地はメキシコなどアメリカ南部から中米、暑く乾燥した大地に生きる、逞しい性質をもった植物です。今年は日本のあちこちで、開花のニュースを目にします。リュウゼツランは花を咲かせると同時に下の方の葉から枯れていってしまうのですが、根元を見ると、こどもが育っています。植物も命を次の世代へしっかりと継承していくのですね。

表紙の花は？



表紙の植物は、タイサンボクの花です。いくびょう園の近くの日岡山公園第三駐車場で、背が高く、濃い緑色の葉が生い茂る中に、やさしげに白い花がいくつか咲いているのをみかけて、パシャッとシャッターを切りました。原産地は北米南西部、甘い優雅なかおりと純白の大輪が魅力の花です。